



# 暖地園芸センター ニュース

2004. 7. 20

## 目 次

巻頭言	暖地園芸の将来・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(小沢良和)・1
研究の成果	「紀の輝」の秋まきハウス冬春どり栽培における播種日および仕立て本数・(川西孝秀)・2 スターチス・オリジナル新品種「紀州スター」の特性・・・・・・・・・・	(古屋拳幸)・3
トピックス	多様化する消費形態に対応した新花き生産技術開発・・・・・・・・・・	(伊藤吉成)・4
お知らせ	平成16年度主な行事予定、人事異動・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4



実エンドウ「紀の輝」の栽培風景と莢・子実 (本文2ページ)

## 巻頭言

## 暖地園芸の将来

暖地園芸センター所長 小沢良和

暖地園芸センターは本県園芸農業振興のため、地域特産オリジナル品目の育成と栽培技術等の開発を行っています。

①本年度からは、農林水産研究高度化事業「近畿地域の伝統野菜の高品質安定生産技術と地産地消モデルの開発」で実エンドウの機能性と調理特性の開発、「新規品質保持剤利用による切り花バケット流通システムの確立」ではバラ、シュッコンカスミソウのバケット遠隔流通における品質保持技術開発など、今日的な課題に取り組んでいます。

②特産品目のスターチス、カスミソウ、デ

ルフィニウム、実エンドウなどの生産性向上技術開発を行っています。

③種苗法改正に伴う育成者権利の強化に対応して産地の活性化を図るため、スターチス、スイートピーなどの花き類や実エンドウの本県オリジナル品種の育成を進めています。

④バイオテクノロジー利用により、ササユリ、キョウロウホトトギスなど希少・有望品目を保存・増殖し「ふるさと産品」として推進しています。

これらの試験研究を通じ地域園芸農業の維持発展と活性化に努めているところです。